

な ら けん しょう がい しゃ けい かく

# 奈良県障害者計画

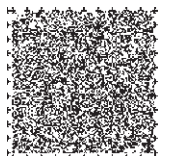
がいようばん  
概要版



平成22年3月



奈良県



# 奈良県障害者計画とは？



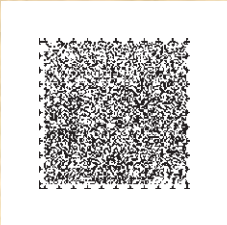
## 計画の策定にあたって

約3万人の障害のある人を対象とした大規模な「障害者の生活、介護に関する実態調査を実施」

障害のある人とその家族が抱える課題やニーズを把握・分析

その課題解決に向けた施策を計画に反映

関係機関や関係団体及びパブリックコメントにより、多くの県民の意見を反映



## 障害者の生活、介護等に関する実態調査の概要

### 【共通事項】

○ 「生活に必要な収入が将来も得られるかどうか」(53.0%)、「自分を支えてくれる人が病気になったり、いなくなったりするのではないか」(47.1%)という不安が高く、家族介護者の悩みでは「自分が高齢で介護できなくなった時のことなど、将来が不安である」(57.7%)が高い。

○ 世帯の年間収入は、100万円未満(20.9%)が最も高く、次いで200万円以上300万円未満(17.5%)であり、世帯の暮らし向きについても、「生活できる収入はあるが、それほど余裕はない」(37.0%)と「生活するのにぎりぎりの収入である」(33.8%)が高く、生活の苦しいことが伺える。

○ 行政の取り組みで必要と思うことでは、「障害者に必要な相談や情報を提供する体制の充実」(33.0%)が最も高く、次いで「障害者に配慮した保健、医療体制の充実」(30.7%)、「地域住民の障害者への理解を深める啓発」(29.4%)となっている。

### 【障害種別ごとの特徴】

#### 身体障害のある人

- ・持ち家で暮らす人が70.5%と高いが、自宅は階段や段差が多く不便と感じる割合も30.1%と高い。
- ・52.9%と半数以上の人、一人で遠方への外出が可能であるが、バリアフリー化が進んでいない施設に対する困難を感じる割合も高い。

#### 知的障害のある人

- ・自宅で親・兄弟と暮らしている人の割合が高い一方、障害者施設で暮らしている人の割合も11.7%ある。  
将来暮らしたい場所として「グループホームに入居したい」も10.8%ある。
- ・平日の昼間の居場所では、施設や作業所に通っている割合が31.4%と高い。

#### 精神障害のある人

- ・一人暮らしの割合が15.0%と高く、外出目的は「通院」が59.9%。  
相談相手は、「かかりつけ医」が42.2%となっている。
- ・行政の取り組みでは「相談支援の充実」が40.5%、「地域住民への理解を深める啓発」が36.9%と高い。

